

東信エリア初、セキスイハイムの「スマート&レジリエンス」の分譲地 『スマートハイムシティ古里』販売開始

- セキスイハイム「スマート&レジリエンス」のまちづくり 東信エリア第一弾
- 全邸を蓄電池搭載の ZEH 仕様^{*1}とし、地球にも人にもやさしく快適なまち
- まちづくりガイドラインを策定し緑ゆたかで美しい街並みの調和を図り、住み継がれるまちへ

2022年3月22日

セキスイハイム信越株式会社

セキスイハイム信越株式会社（社長：石原範久、本社：長野県松本市）は、レジリエンスを強化した分譲地『スマートハイムシティ古里』（全17区画）の第一期分譲（7区画）を2022年3月25日（金）に販売開始します。

セキスイハイムグループでは、長く安心して住み継がれるサステナブルなまちの実現を目指し、環境技術、耐災害技術を結集させた「まちづくり」事業の拡大に取り組んでいます。

『スマートハイムシティ古里』は、東信エリアで初めてセキスイハイムの際立ちである「スマート&レジリエンス」を体現するまちづくりプロジェクトとなります。

セキスイハイムだからこそ実現できる安心・快適な住宅づくりで、環境負荷軽減に資するだけではなく、災害対策やニューノーマルを意識した分譲地を販売し、地域社会へ貢献します。

『スマートハイムシティ古里』の特長

1. セキスイハイム「スマート&レジリエンス」のまちづくり 東信エリア第一弾

『スマートハイムシティ古里』は、セキスイハイムグループが取り組んでいる、長く安心して住み継がれるサステナブルな「まちづくり」事業における東信エリアの第一弾です。「スマート&レジリエンス」のコンセプトに、セキスイハイムだからこそできる安心・安全・快適に住み継がれるまちの実現を目指します。

2. 全邸を蓄電池搭載の ZEH 仕様^{*1}とし、地球にも人にもやさしく快適なまち

全邸を、太陽光発電システム（以下 PV）、蓄電池、HEMS 搭載の ZEH 仕様^{*1}とします。環境へのやさしさや先進技術により便利な暮らしを実現する「スマート」と、日常はもとより災害時の安心を提供する「レジリエンス」を兼ね備えた、安心・安全で環境にやさしいまちを実現します。

3. まちづくりガイドラインを策定し緑ゆたかで美しい街並みの調和を図り、住み継がれるまちへ

ひとつの街として統一感のある景観や緑ゆたかな環境を創出していくためのデザインガイドラインを策定。シンボルツリーとサブツリー、低木や地被類を適切に選定することで、建物・外構とのバランスを取りながらリズム感ある美しい景観を街の中に提供していきます。また、分譲地内には高木やベンチを配置した公園を設けることで、住民同士のコミュニケーションが広がり、人が集うまちを目指します。

『スマートハイムシティ古里』のねらいと特長

1. セキスイハイム「スマート&レジリエンス」のまちづくり 東信エリア第一弾

『スマートハイムシティ古里』はセキスイハイムグループが取り組む「まちづくり」事業の一環であり、東信エリアとして第一弾となります。上田市の中心に流れる千曲川は、近年、大型台風の接近や局地的豪雨により、従来の想定を超える浸水被害が多発しています。特に令和元年台風第19号による記録的な大雨では、橋梁が流されるなど大きな影響を受けました。災害から家族の命を守る「スマート&レジリエンス」のまちづくりを通じて、快適・便利で地球環境にやさしく、災害に強い“サステナブルなまち”の実現を目指します。

2. 全邸を蓄電池搭載の ZEH 仕様^{※1}とし、地球にもひとにもやさしい快適なまち

『スマートハイムシティ古里』に建築するセキスイハイムは、環境へのやさしさや先進技術により、便利で快適な暮らしを実現する「スマート」と、日常の安心はもとより、災害時・災害後の安心を提供する「レジリエンス」を兼ね備えています。

(1) 3点セット(PV、蓄電池、HEMS)搭載で全邸 ZEH 仕様^{※1}

2030年の住まいのスタンダードを先取りし、高い断熱性能と創エネ&蓄エネ設備を備え、ZEH基準^{※1}に全住戸対応。可能な限り自然エネルギーを活用し、地球と家計に優しい“未来基準の住まい”がサステナブルな暮らしをつくれます。



3点セット(PV、蓄電池、HEMS)を全邸搭載

(2) いつでも安心・安全を感じられる「レジリエンス」を兼ね備えたまち

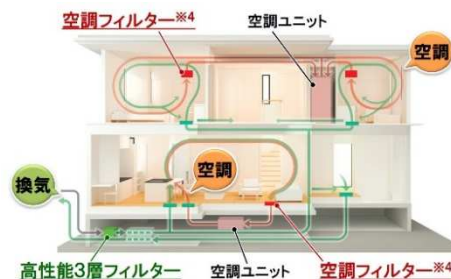
品確法の耐震等級の最高ランクを標準でクリア^{※2}、強靱な住まいが災害から家族を守ります。また PV、蓄電池、HEMS の3点セットが、災害後など長時間の停電にも強い、エネルギー自給自足型の暮らし^{※3}を実現します。



家族の命を守る強靱な住まい

(3) 良質な室内環境を実現する換気・空調システムを標準搭載

ニューノーマルにおいて重要視されている在宅時の快適性や空気環境への配慮のため、換気・空調・粉塵浄化の3つの機能を有する第一種換気・全室空調システム「快適エアリーT-SAS (ティーサス)」を標準搭載^{※4}。高性能3層フィルターにより有害物質(ウイルスを除く)の侵入を抑制した外気を取り込み、室内の空気を入れ替えます。抗ウイルス対応フィルター^{※5}を採用した空調システムでは、室内空気が循環する過程でフィルターに付着したウイルスの働きを抑制することが期待できます。



良質な室内環境を実現する「快適エアリーT-SAS」

3. まちづくりガイドラインを策定し緑ゆたかで美しい街並みの調和を図り、住み継がれるまちへ

(1) 美しいまちなみを維持するまちなみデザインガイドライン

ひとつの街として統一感のある景観や緑ゆたかな環境を創出していくためのデザインガイドラインを策定。美しい街並みを維持することで、価値が続き、長く住み継がれるまちとなります。

○景観を美しく整える外構植栽デザイン

区画ごとにシンボルツリーとサブツリー、低木や地被類を適切に選定。建物・外構とのバランスを取りながら組み合わせることで、リズム感のある美しい景観を街の中に提供します。



ヤマボウシ(シンボルツリー)



キンモクセイ(サブツリー)

○ナイトシーンを演出する照明計画

全区画共通の外構照明を設け、位置が定められたシンボルツリーをライトアップすることで光の連続によるリズム感あるストリートスケープを生み出します。また防犯対策としても、街に安心感をもたらします。



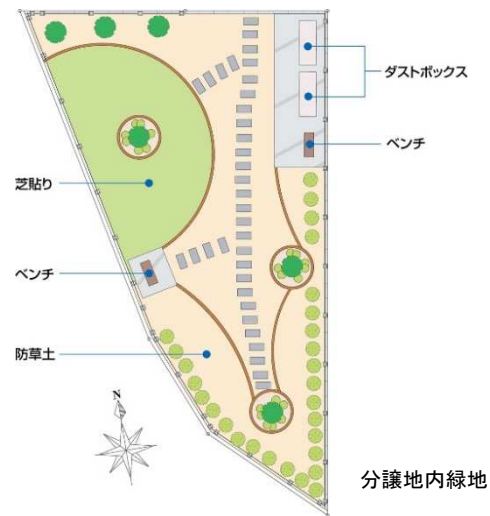
美しく照らしながら防犯対策にも効果的

○潤いある風景を育む沿道緑化

東側道路に面する敷際は生垣植栽とし、歩道側に緑の潤いを提供します。また、すべての区画の植栽をできる限り道路から見える位置に配置することで、ゆたかな風景の創出を目指します。

(2) コミュニティを活性化し、人が集うまち

分譲地内南西部には、高木やベンチを配置した公園を設けました。公園での毎日のちょっとした会話から住民同士のコミュニケーションが広がり、人が集うまちを目指します。



分譲地内緑地



『スマートハイムシティ古里』街並みイメージ ※実際とは異なる場合があります。

参考 [セキスイハイム信越株式会社 会社概要]

設 立：1975年4月

資 本 金：3億円（積水化学工業株式会社100%出資）

代 表 者：代表取締役社長 石原範久

売 上 高：259億5183万円（2020年度 セキスイハイム信越グループ連結実績）

従 業 員 数：391名（2022年1月現在、グループ従業員数）

事 業 内 容：ユニット住宅「セキスイハイム」、「ツーユーホーム」の販売・設計・施工、
分譲地販売、アパート事業、インテリア、エクステリア、リフォーム等住関連事業

展 示 場：18拠点

本社所在地：〒390-0848 長野県松本市両島6-11

<この件に関するお問い合わせは下記までお願いします>

セキスイハイム信越株式会社 営業本部 中村、齋藤 TEL：026-28-8305

〒390-0848 長野県松本市両島6-11